

施策評価調書(27年度実績)

施策コード I-8-(1)

政策体系	施策名	未来を担うNPO(NPO法人・ボランティア団体・地域コミュニティ団体等)の育成と協働の推進	所管部局名	生活環境部	長期総合計画頁	73
	政策名	多様な県民活動の推進	関係部局名	生活環境部		

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	NPO・ボランティアの育成・活動支援	協働に向けた支え合いの仕組みづくり	NPO活動と協働の県民理解・参加の促進

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する取組No.	基準値		27年度			31年度	36年度	目標達成度(%)					
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125	
i 県・市町村との協働件数(件)	②	H26	942	967	948	98.0%	1,067	1,192						

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等	平均評価
i 概ね達成	県や市町村職員がNPO活動の現場や組織等を直接知ること、NPOに対する理解と知識を深め、業務におけるNPOとの協働の推進を図り、また、本庁協働推進員や部局予算担当へのヒアリング、各部局主管課長で構成する「協働推進庁内連絡会議」を通じて、NPO等への協働の推進を図った結果、目標値を概ね達成した。	概ね達成

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> ・おおいたボランティア・NPOセンターにおける相談受付、アドバイザー派遣、講座の実施により、NPOの育成、活動支援ができた。 ・研修実施により災害ボランティアセンター運営リーダーの育成ができた。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を担うNPO協働モデル創出事業により、実行委員会方式での4事業を実施、多様な団体・機関が協働して地域課題を解決していく仕組みのモデルができた。 ・「NPO等助成協働プログラム合同説明会」を実施することでNPOと企業との相互理解・マッチングの機会を提供できた。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を担うNPO協働モデル創出事業で県民の参加が促進され、また実施の様子が新聞・テレビで報道され、NPO活動に対する理解が進んだ。 ・「おおいたNPO情報バンク おんぼ」の運営により、ICTを利用した情報提供・理解が進んだ。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(27年度事業)	事業コスト (千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	28年度の方向性	
①③	NPO総合支援体制強化事業	24,724	A	終了	84
②	クリーンロード支援事業	17,911	A	継続・見直し	169
②③	地域を担うNPO協働モデル創出事業	12,781	A	継続・見直し	85

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○第1回大分県協働推進会議(H27.10)</p> <p>・地域を担うNPO協働モデル創出事業は、3年後に委託を終了させるのではなく、3年後に課題解決を継続させるためにはどういう支援をしていかなければならないのか考えなければならない。社会的な意義がある、あるいは、これを継続することが非常に意義深いということが認められれば、その経営を成り立たせるためのアドバイスや支援ということを継続すべきではないか。</p>	
--	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・NPOがこれまで地域を担ってきた地域セクターや行政等とタッグを組み、多様化する地域課題を継続的に解決するための「地域を担うNPO協働モデル創出事業」を引き続き実施する。また、効果的かつ継続的に事業を実施するため、9月に中間報告会を実施し、事業の検証を行う。 ・県政広報媒体を活用した広報活動を強化するとともに、協働事例の発表会を行い、協働に対する県民理解と参加を促進させる。